



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月14日

上場会社名 東映株式会社 上場取引所 東・大  
 コード番号 9605 URL http://www.toei.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 剛  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 安田 健二 (TEL) 03(3535)4641  
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	88,628	9.6	9,951	21.4	11,365	18.5	5,420	9.5
23年3月期第3四半期	80,870	4.6	8,199	35.4	9,589	32.3	4,948	56.0

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 8,839百万円(85.6%) 23年3月期第3四半期 4,762百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	42 87	—
23年3月期第3四半期	39 09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	215,727	113,282	42.4
23年3月期	213,333	105,699	39.9

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 91,474百万円 23年3月期 85,212百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3 00	—	3 00	6 00
24年3月期	—	3 00	—		
24年3月期(予想)				3 00	6 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	111,000	2.0	10,500	1.5	11,500	△6.4	5,500	6.2	43 51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社 ( )、除外 社 ( )

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年3月期3Q	147,689,096株	23年3月期	147,689,096株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	21,322,400株	23年3月期	21,145,558株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

24年3月期3Q	126,420,200株	23年3月期3Q	126,595,304株
----------	--------------	----------	--------------

(参考) 個別業績の概要

1. 平成24年3月期第3四半期の個別業績 (平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 個別経営成績 (累計) (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	39,380	△2.6	3,974	8.2	4,568	17.9	2,484	6.4
23年3月期第3四半期	40,439	△5.4	3,671	△2.5	3,873	△4.7	2,334	15.5

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	19 23	—
23年3月期第3四半期	18 04	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	129,767	39,591	30.5	306 50
23年3月期	131,656	36,258	27.5	280 31

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 39,591百万円 23年3月期 36,258百万円

2. 平成24年3月期の個別業績予想 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	52,000	△4.0	5,100	△2.5	3,000	11.6	23 22

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において四半期報告書も同日に開示する予定のため、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響による国内経済活動の停滞と混乱に加えて、ギリシャの債務不履行危機から始まった欧州金融危機や円高がより悪化したことで国内の個人需要及び法人需要が冷え込み、引き続き厳しい状況で推移いたしました。当社グループを取り巻く事業環境におきましても、この先行きの不透明感からくる消費者の節約志向はまだまだ続いており、依然として厳しい情勢下にありました。

このような状況のなかで当社グループは、映像関連事業におきましては、映像3部門（映画製作配給業・ビデオ事業・テレビ事業）の連携強化や興行関連事業・催事関連事業の積極展開等によって収益の拡大をはかるとともに、観光不動産事業・その他事業の各部門におきましても厳しい事業環境に対応して堅実な営業施策の遂行に努めました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は886億2千8百万円（前年同四半期比9.6%増）、経常利益は113億6千5百万円（前年同四半期比18.5%増）となり、四半期純利益は54億2千万円（前年同四半期比9.5%増）となりました。

次に各セグメント別の概況をご報告申し上げます。

## ① 映像関連事業部門

映画製作配給業では、「劇場版 仮面ライダーオーズ WONDERFUL 将軍と21のコアメダル」「海賊戦隊ゴーカイジャー THE MOVIE 空飛ぶ幽霊船」「オーズ・電王・オールライダー レッツゴー仮面ライダー」「探偵はBARにいる」「仮面ライダー×仮面ライダー フォーゼ&オーズ MOVIE大戦 MEGA MAX」がヒットしたほか、「ゴーカイジャー ゴセイジャー スーパー戦隊199ヒーロー大決戦」「映画 スイートプリキュア♪ とりもどせ!心がつなぐ奇跡のメロディ♪」「ツレがうつになりました。」が好調に稼働いたしました。これら8作品に8本を加えた16本を提携製作し、これに海外買付作品「アジソン」「1911」や他社製作作品「デンデラ」「大鹿村騒動記」等を加えた合計27本を配給いたしました。ビデオ事業では、主力の劇場用映画のDVD作品に加えて、テレビ映画のDVD作品を販売いたしました。テレビ事業では、「おみやさん」「新警視庁捜査一課9係」等を製作して作品内容の充実と受注本数の確保に努め、キャラクターの商品化権営業が好調に推移しました。そのほか、劇場用映画等の地上波放映権及びビデオ化権等を販売し、アニメ関連では、「ワンピース」の国内版權事業が引き続き好調に稼働し、「スイートプリキュア♪」も堅調に推移しました。

以上により、当部門の売上高は586億8千万円（前年同四半期比9.3%増）、営業利益は78億2千1百万円（前年同四半期比24.9%増）となりました。

## ② 興行関連事業部門

映画興行業では、(株)ティ・ジョイ運営のシネコンが堅調に稼働しました。なお、平成23年5月に大阪ステーションシティシネマが開業し、12スクリーン増加の合計194スクリーン体制（東映(株)直営館4スクリーン含む）で展開しております。

以上により、当部門の売上高は112億4千4百万円（前年同四半期比2.9%増）、営業利益は4億2千9百万円（前年同四半期比23.0%減）となりました。

## ③ 催事関連事業部門

催事業業では、国際文化催事の「世界遺産 ヴェネツィア展～魅惑の芸術・千年の都～」をはじめとして、「最恐!梅田お化け屋敷 とおりゃんせ～地図に載らない国道0号線～」等のホラーイベントや「新潟鉄道博2011 in 朱鷺メッセ」、文化催事の「私の針仕事展」、人気キャラクターショーなど各種イベントの提供を行うとともに、映画関連商品の販売など積極的な営業活動を展開いたしました。また、東映太秦映画村が平成23年9月15日に新たなアトラクションや展示を加えてリニューアルオープンいたしました。これにより入場者数も確実に増加し、好評を博しております。以上により、当部門の売上高は68億4千6百万円（前年同四半期比0.5%減）、営業利益は16億5千4百万円（前年同四半期比29.9%増）となりました。

## ④ 観光不動産事業部門

不動産賃貸業では、「プラッツ大泉」「オズ スタジオ シティ」「渋谷東映プラザ」「新宿三丁目イーストビル」「E～maビル」「広島東映プラザ」等の賃貸施設が堅調に稼働いたしました。ホテル

業においては、回復傾向にある需要に伴う集客競争と消費者の節約志向による価格競争の激化や震災の影響により、業界環境は厳しい状況にありましたが、各ホテルとも収益の確保に向け堅実な営業活動を展開いたしました。なお、賃借ホテルの「天王寺東映ホテル」は、経営環境の悪化から成績不振が続き、回復の見通しも立たないため、遺憾ながら平成23年10月に閉館いたしました。以上により、当部門の売上高は51億1千万円(前年同四半期比2.0%減)、営業利益は17億4百万円(前年同四半期比3.9%減)となりました。

#### ⑤ その他の事業部門

その他の事業では、景気低迷のさなか、懸命に営業活動を展開いたしました。その結果、売上高は67億4千6百万円(前年同四半期比61.5%増)、営業利益は2億3千9百万円(前年同四半期比40.7%減)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間における総資産は、2,157億2千7百万円となり、前期末に比べ23億9千4百万円増加しました。これは主に、現金及び預金が31億5千6百万円、有形固定資産のその他が24億3百万円、投資有価証券が15億6千9百万円増加し、流動資産のその他が14億5千8百万円、建物及び構築物が13億7千5百万円、投資その他の資産のその他が19億3千7百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間における負債の部は、1,024億4千5百万円となり、前期末に比べ51億8千8百万円減少しました。これは主に、流動負債のその他が14億8百万円増加し、借入金が長短合わせて31億4千6百万円、未払法人税等が7億5千7百万円、固定負債のその他が30億3千7百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間における純資産の部は、1,132億8千2百万円となり、前期末に比べ75億8千2百万円増加しました。これは主に利益剰余金が46億1千3百万円、土地再評価差額金が14億2千1百万円、少数株主持分が13億2千1百万円増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、第3四半期において「ワンピース」他の国内版權事業が引き続き順調に稼働していることから、平成23年11月11日に公表いたしました業績予想を修正しております。なお、実際の業績は、当社グループの事業を取り巻く経済環境、市場動向等様々な要因により、記述されている業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	27,805	30,962
受取手形及び売掛金	13,283	13,463
商品及び製品	1,010	1,146
仕掛品	5,736	6,541
原材料及び貯蔵品	550	378
その他	5,705	4,246
貸倒引当金	△141	△128
流動資産合計	53,949	56,609
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	40,884	39,509
土地	44,113	43,819
その他(純額)	4,469	6,873
有形固定資産合計	89,467	90,202
無形固定資産	1,233	964
投資その他の資産		
投資有価証券	53,084	54,654
その他	17,257	15,319
貸倒引当金	△1,659	△2,023
投資その他の資産合計	68,682	67,950
固定資産合計	159,383	159,118
資産合計	213,333	215,727
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,340	17,194
短期借入金	1,896	3,520
1年内返済予定の長期借入金	17,395	12,366
未払法人税等	2,366	1,608
賞与引当金	939	400
その他	8,190	9,599
流動負債合計	47,127	44,689

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
固定負債		
社債	15,300	15,300
長期借入金	14,343	14,602
退職給付引当金	3,784	3,871
役員退職慰労引当金	934	876
その他	26,142	23,105
固定負債合計	60,505	57,755
負債合計	107,633	102,445
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,707	11,707
資本剰余金	21,742	21,742
利益剰余金	56,607	61,220
自己株式	△7,391	△7,451
株主資本合計	82,665	87,219
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,616	△2,290
土地再評価差額金	5,353	6,775
為替換算調整勘定	△190	△229
その他の包括利益累計額合計	2,546	4,254
少数株主持分	20,487	21,808
純資産合計	105,699	113,282
負債純資産合計	213,333	215,727

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	80,870	88,628
売上原価	54,252	59,683
売上総利益	26,617	28,944
販売費及び一般管理費		
人件費	7,986	8,003
広告宣伝費	1,071	1,364
賞与引当金繰入額	282	287
退職給付費用	757	758
減価償却費	859	825
その他	7,461	7,753
販売費及び一般管理費合計	18,418	18,992
営業利益	8,199	9,951
営業外収益		
受取配当金	342	349
負ののれん償却額	484	429
持分法による投資利益	1,186	1,050
その他	136	264
営業外収益合計	2,150	2,093
営業外費用		
支払利息	626	583
その他	134	96
営業外費用合計	760	680
経常利益	9,589	11,365
特別利益		
抱合せ株式消滅差益	78	—
持分変動利益	51	—
固定資産売却益	21	1,986
貸倒引当金戻入額	73	—
その他	8	—
特別利益合計	232	1,986
特別損失		
固定資産除却損	—	75
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	757	—
投資有価証券評価損	66	—
貸倒引当金繰入額	—	494
減損損失	—	311
その他	191	14
特別損失合計	1,014	896

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
税金等調整前四半期純利益	8,806	12,455
法人税、住民税及び事業税	2,911	3,366
法人税等還付税額	△409	—
法人税等調整額	63	1,866
法人税等合計	2,565	5,233
少数株主損益調整前四半期純利益	6,241	7,221
少数株主利益	1,293	1,801
四半期純利益	4,948	5,420

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,241	7,221
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,187	295
為替換算調整勘定	△148	△92
持分法適用会社に対する持分相当額	△142	24
土地再評価差額金	—	1,390
その他の包括利益合計	△1,478	1,617
四半期包括利益	4,762	8,839
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,672	7,097
少数株主に係る四半期包括利益	1,090	1,742

## (3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）  
該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## I 前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	映像関連 事業	興行関連 事業	催事関連 事業	観光 不動産 事業	その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高								
外部顧客への売上高	53,668	10,930	6,880	5,212	4,177	80,870	—	80,870
セグメント間の内部売上高 又は振替高	954	92	344	613	4,516	6,520	△6,520	—
計	54,622	11,022	7,225	5,825	8,694	87,390	△6,520	80,870
セグメント利益	6,264	557	1,273	1,773	404	10,274	△2,074	8,199

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建築工事・室内装飾請負等に関する事業、物品の販売事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△2,074百万円には、セグメント間取引消去△336百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,737百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	映像関連 事業	興行関連 事業	催事関連 事業	観光 不動産 事業	その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高								
外部顧客への売上高	58,680	11,244	6,846	5,110	6,746	88,628	—	88,628
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,349	86	416	494	935	3,281	△3,281	—
計	60,029	11,331	7,262	5,605	7,681	91,910	△3,281	88,628
セグメント利益	7,821	429	1,654	1,704	239	11,849	△1,897	9,951

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建築工事・室内装飾請負等に関する事業、物品の販売事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,897百万円には、セグメント間取引消去△122百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,775百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

該当事項はありません。